

学 校 教 育

施策展開の方向及び主要事業	15
小・中学校児童生徒数の推移	21
学校施設整備計画	22
研修及び研究奨励事業等の概要	23
平成 25 年度研究学校	24
学校体育・学校保健・学校給食	26
特別支援教育	30
教育センター	31
養護教育センター	36

学 校 教 育

■施策展開の方向及び主要事業

1 わかる授業を推進し、自ら学ぶ力を身に付けさせる

①学ぶ意欲と確かな学力をはぐくむ教育の推進

中学校教科書等購入

平成 25 年度は、小・中学校の学級増に伴い、各教科指導の充実を図るため、改訂された教科用図書及び指導書を教員に貸与する。

少人数学習指導教員配置

教育活動の支援が必要な学校に対し、少人数学習指導教員を効果的に配置することにより、学習の基礎・基本の確実な定着に向けたきめ細やかな指導の実施を図る。

学力状況調査の実施

児童生徒の学習状況や学習指導上の課題を把握し「わかる授業」を推進するため、全ての小学校 3 年生・5 年生、中学校 2 年生を対象とした学力状況調査を実施する。

学校支援員の配置

大学生や退職教員等を学習指導の補助等、学校の要望に応じて学校支援員として配置する事業を NPO「ちば教育夢工房」に委託し、きめ細かい指導を行う中で確かな学力の育成を図る。

学校訪問指導の実施

学校教育の課題を踏まえ、学校訪問を通して、「わかる授業」づくりの一層の推進を図るための指導助言を行う。

学校図書館指導員による読書活動の充実推進

全小・中・特別支援学校に配置された学校図書館指導員が、児童生徒の豊かな読書活動を推進する。児童生徒への適切な図書の紹介や読み聞かせ、図書館の環境整備などを通して豊かな言葉と心を育む。

理科教育サポート

理科学習を支援する理科教育サポーター配置し、児童生徒の自然事象を探究する意欲や技能、自然科学や科学技術への関心を高める。

千葉市立千葉高校におけるスーパーサイエンスハイスクールの推進

平成 24 年度から文部科学省の指定を受け、未来を担う科学技術系人材を育てるために、先進的な科学技術、理科、数学教育を実践する。

②学びを深め、広げる教育の推進

科学教育の推進

理科や数学の学習に意欲的に取り組む中学生・高校生の能力を伸ばすための質の高い学習プログラムを提供し、科学教育を推進する。

情報教育推進

高度情報化社会に必要な情報活用能力を育成するため、情報機器や情報通信網を活用した情報教育を推進する。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| (1) 情報教育ネットワークの管理運用 | (4) 情報教育支援員の配置 |
| (2) 情報教育推進の調査研究等 | (5) 校内 LAN の活用 |
| (3) 情報セキュリティ対策推進 | (6) 電子黒板等 ICT を活用した授業の推進 |

2 社会性を備えた豊かな心をはぐくむ

①命を大切にすることや思いやりの心をはぐくむ教育の推進

夢広がる学校づくりの推進

子どもたちの社会性や豊かな心をはぐくむため、農山村留学や移動教室、自然教室、げんきキャンプなどの各種体験活動を行う。

(1) 農山村留学 小学校 6 年生 全校 (3) 自然教室 中学校 2 年生 全校

(2) 移動教室 小学校 5 年生 全校 (4) 長柄げんきキャンプ 小・中特別支援学級及び特別支援学校

ボランティア教育の推進

ボランティア教育推進校を指定し、学校生活の中でボランティアに関する体験的な活動を経験させ、思いやりなどの豊かな心をはぐくむ。

不登校やいじめに関する教育相談の実施

不登校やいじめなど教育全般にわたる悩みを持つ幼児・小学生・中学生・高校生・高校生年齢の青少年とその保護者、教職員などの相談に応じる。

- ・ 教育相談ダイヤル 24

- ・ 教育センターの電話相談、来所相談（個別相談、医療相談、グループカウンセリング活動）、家庭訪問相談

スクールカウンセラー活用

いじめや不登校などに対応するため、臨床心理士等による児童生徒へのカウンセリングを行うとともに、教職員及び保護者に対する助言・援助を行い、悩みなどの解消を図る。

(1) スクールカウンセラー配置 中学校 5 6 校 統合小学校 2 校 拠点小学校 3 校

(2) スーパーバイザー配置

スクールソーシャルワーカー活用

教育と福祉の両面に関して専門的な知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ、関係機関などとのネットワークの構築、連携・調整や学校内におけるチーム体制の構築、支援など相談体制の整備を支援する。

子ども議会の実施

児童生徒が千葉市の現状と課題について話し合い、「市民一人一人が生き生きと幸せに暮らせるまちづくり」に向けた具体的な提案・質問を行う。

中学校生徒会交流会の実施

各中学校の生徒会活動の充実を図るため、各校の取組みの情報交換や運営上の課題を話し合う。

②夢や希望をはぐくむ教育の推進

小学校英語活動推進

全小学校の 5・6 年生を対象として、英語を母語とする外国人講師を教員の補助者として配置し、外国語活動を推進する。

外国人講師の配置

全中学校・高等学校に外国人講師を配置し、教科担任との協同授業などにより英語のコミュニケーション能力の向上を目指す。

外国語教育の充実

英語教育強化のため、外部英語試験の受験や全国英語ディベート大会に参加するなどの活動を行う。

中高一貫教育（英語教育）

中高一貫教育目標である「真の国際人の育成」のため、ネイティブスピーカー講師による英語指導を行う。

③豊かな情操をはぐくむ教育の推進

学校図書館図書の充実

基本図書（図鑑・事典類）、研究参考図書（調べ学習に対応できる図書）、一般図書（楽しむための図書）のバランスを踏まえて購入し、蔵書の充実を図る。

未来への夢を育む音楽芸術体験教室

中学生の音楽文化への理解を深めるとともに、我が国や諸外国の芸術文化に対するグローバルな視野を広げ、ることを目的に、邦楽・能楽・声楽・洋楽（オーケストラ）の演奏家を学校に派遣し、興味・関心を高める体験教室や情操を育む音楽鑑賞会を開催する。

3 体力を高め、健康な体をはぐくむ

①体力向上の推進

体力・運動能力調査

全小中学校で実施している、新体力テストの結果を集計し、本市の経年比較や全国・県平均との比較考察を行い、児童生徒の体力・運動能力を把握するとともに、体力向上施策に生かす。

また、本市独自で小学校運動能力検定を実施する。

小・中学校各種体育大会、発表会の開催

小学校では、表現運動発表会、陸上大会、球技大会を、中学校では、総合体育大会等を開催する。

武道等指導推進

武道・ダンスの指導の充実を図るため、地域の指導者の活用に当たって、地域の指導者の技術及び安全に関する専門的な指導力の活用方策に関する実践研究を行う。

運動部活動地域連携再構築

中学校の運動部活動の活性化を図るため、地域のスポーツ指導者の活用等の在り方について実践研究を行う。

②健やかな体の育成

学校検診

児童生徒の疾病の早期発見と早期治療を図るため、各種検査及び保健指導などを行う。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| (1) 腎疾患対策（尿検査・細菌尿検査） | (4) 結核対策（結核健診・精密検診） |
| (2) 心疾患対策（心電図検査・精密検診） | (5) ぎょう虫卵検査 |
| (3) 脊柱側弯症対策（モアレ検査・低線量X線検査） | |

小学校給食調理業務委託化

小学校給食運営における諸問題を解決し、今後も子どもたちに、安全・安心で魅力ある給食を提供するため、新規8小学校を含む42小学校において給食調理業務の民間委託を行う。

学校給食

安全で豊かな学校給食の充実を図るため、学校給食運営に必要な消耗品や備品などを整備するとともに、各種検査（腸内細菌検査等）を行う。

学校給食センター運営

成長期にある生徒に、安全でバランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供する。

また、新港学校給食センター・大宮学校給食センターの管理運営をPFI事業により行う。

4 家庭の教育力を高め、地域の教育力を生かす

①地域の教育力を活用した家庭・学校への支援の充実

放課後子ども教室推進

児童の総合的な放課後対策として、引き続き安全・安心な放課後の活動場所としての「放課後子ども教室」を全ての小学校で行う。

運動部活動地域連携再構築（再掲）

武道等指導推進（再掲）

学校・家庭・地域連携によるまちづくりの推進

学校・家庭・地域の連携により、各地域の特色を生かした地域活動を推進し、児童生徒の地域に対する愛着や誇りをはぐくむ。

学校セーフティウォッチ

児童生徒の安全確保を図るため、学校セーフティウォッチャーによる見守り活動を支援するとともに、地域ぐるみの学校安全体制整備を推進する。

5 子どもの学びを支える教育環境を整える

①学校施設等の整備・充実

校舎等耐震補強

児童生徒の安全を確保するため、校舎や渡り廊下の耐震補強工事を行う。

・小学校 22校 ・中学校 11校 ・高校 1校

屋内運動場耐震補強

児童生徒の安全を確保するとともに、災害時の避難所としての機能を向上させるため、屋内運動場の耐震補強工事を行う。

・小学校 12校 ・中学校 2校 ・特別支援学校 1校

屋内運動場非構造部材等耐震対策

児童生徒の安全を確保するため、屋内運動場の非構造部材等の耐震対策工事を行う。

・小学校 1校 ・中学校 2校

校舎エレベーター設置

障害のある児童生徒の、学校生活の向上と移動に伴う負担軽減を図るため、校舎にエレベーターを設置する。

・小学校 3校 ・中学校 3校 設置工事

高等特別支援学校整備

旧真砂第二小学校跡施設を活用し、平成25年4月に開校の高等特別支援学校・養護学校真砂分校の施設整備を行う。

校舎、屋内運動場耐震補強工事 喫茶室等改修工事

特別支援学級等施設の整備充実

児童生徒の障害の種別や程度に応じた教育を行うため、設置から3年目までの特別支援学級などへ指導用備品を整備する。

学校防犯対策

施設被害や侵入等のある学校の中から2校に防犯カメラシステムを設置し、安全で安心な学校づくりを推進する。（設置校54校→56校）

教材教具充実

教育内容の充実を図るため、児童生徒の教育に必要な、消耗品や備品を整備する。

②教育環境の改善と特色ある学校づくりの推進

学校適正配置推進

学校の小規模校化・大規模校化によって生じる教育上・学校運営上の諸問題や教育環境の不均衡を解消するとともに、子どもたちのより良い教育環境の整備と教育の質の充実を図るため、学校適正配置を推進する。

小規模校については、立地形態の区分ごとに、統合又は学区調整により適正配置を検討する。

大規模校については、隣接する学校との学区調整等により適正配置を推進する。

学校適正配置改修

学校適正配置事業により統合した小・中学校について、校舎及び諸施設の大規模改修を行う。

- ・磯辺小学校 ・真砂東小学校（平成 24 年度～平成 25 年度継続）
- ・磯辺中学校（平成 25 年度～平成 26 年度継続）

新宿地区における校舎増築

新宿地区の大幅な児童生徒数増に対応するため、新宿中学校内に、新宿小学校及び新宿中学校の校舎を増築するとともに、新宿小学校の給食室を増築する。

杭打工事、増築工事、エレベーター設置工事（平成 24 年度～平成 25 年度継続）

給食室増築実施設計

特色ある教育活動の展開

各学校において、地域の自然や文化に親しむ活動、異文化との交流を図る活動、学習発表会などの総合的な学習の時間をはじめ、教科や特別活動、学校行事を充実させる中で、学校や地域のよさを生かした特色ある学校づくりを推進する。

特色ある学校づくり推進

各学校の自主性・自律性の確立のため、学校の裁量で執行可能な予算措置を図ることにより、特色ある教育活動を積極的に支援する。

③学びの連続性を重視した教育の推進

幼保小関連教育の推進

幼稚園・保育所（園）等と小学校の円滑な接続を図るため、小学校と近隣の幼稚園や保育所（園）の連携を推進する。

小中連携・一貫教育の推進

小中連携教育研究指定校の実践などを生かしながら、小中一貫教育の推進について検討する。小・中学校の円滑な接続と学びの連続性を重視した小中一貫教育リキュラムを作成する。

海外・国内科学技術研修派遣

自然の事物・現象に対する関心を高め、科学的に探究する態度、能力及び豊かな国際性を養うことを目的に、理数科 1 年次に国内（大島）、2 年次に海外（アメリカ）にて科学技術研修を行う。

国際交流事業の推進

ホームステイや体験入学を通して、生徒が実践的な語学の習得と豊かな国際性を養うために、姉妹都市であるヒューストン市、ノースバンクーバー市などの生徒・職員との交流事業を推進する。

6 意欲と指導力のある教職員を確保・育成するとともに、教職員が職務に専念できる体制を整備する

①教職員の資質・指導力の向上

教職員研修

教職員の資質能力の向上や教育課題の解明に向けた教職員研修の充実を図るため、研修内容や形態・日程の工夫改善を図り、よりよい研修講座の運営を行う。

小・中学校研究学校の指定

教育課題解明のため、研究学校を指定し、教育活動全般の研究を行い、研究報告会や実践報告書の作成を通して課題解決の促進を図る。

②教職員への支援体制の充実

子どもの夢をはぐくむ学校サポート推進事業

学校の必要とする人材を学校支援員として各学校に配置する事業をNPO「ちば教育夢工房」に委託し、実施する。

教職員ヘルシーシステム

学校医（産業医）・スクールカウンセラー等が、年間18校程度を巡回し、教職員の心身の健康相談を行う。

また、医師会・管理職・関係課・教職員組合などの代表で構成するメンタルサポート委員会を年間2回開催し、教職員の健康管理について協議するとともに、年代別教職員メンタルヘルス研修会を年2回行う。

7 多様な教育的支援を充実させるための教育環境整備を一層進める

①特別支援教育の推進

特別支援教育指導員配置

緊急に対応が必要なADHD児などが在籍する学校に対して、対象児の状況の改善と校内支援体制の整備を図るため、特別支援教育指導員の配置を推進する。

特別支援学級等施設の整備充実（再掲）

高等特別支援学校整備（再掲）

障害等に関する教育相談の実施

障害等のある幼児・児童生徒及び保護者、教職員に対して教育相談を行う。

電話相談、来所相談、土曜教育相談、医療相談、学校訪問相談、グループ活動

②不登校児童生徒への支援の充実

適応指導教室

不登校児童生徒の一時的な居場所を確保し、学校生活への復帰を支援する。

- | | | |
|---------------|--------------|-------------|
| (1) ライトポート花見川 | (3) ライトポート中央 | (5) ライトポート緑 |
| (2) ライトポート若葉 | (4) ライトポート美浜 | |

教育相談指導教室の整備

心理的要因により不登校になった生徒の通常学級への復帰をめざすため旧真砂第二小学校跡施設に教育相談指導教室を整備する。

家庭訪問相談員の派遣

不登校で引きこもり傾向の子どもや病気で長期欠席している小・中学生の家庭を訪問して相談活動を実施する。

- ・家庭訪問相談員 12人 ・週1回2時間程度

③国際化への対応

国際理解教育推進(外国人児童生徒指導協力員の派遣)

外国人児童生徒に日本語の指導及び学校適応指導を行う協力員を派遣する。

- ・外国人児童生徒指導協力員 11人

日本語指導通級教室整備

日本語指導が必要な外国人生徒に対して、専門的な指導を実施するため、旧真砂第二小学校跡施設に開設する日本語指導通級教室に必要な備品や消耗品等を整備する。

④教育の機会均等を図るための支援の充実

就学援助

経済的な理由により就学が困難な小・中学校に通学する児童生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、給食費などを援助する。

育英資金

市立高等学校に在学する本市在住の生徒で、学力優秀かつ経済的な理由により修学が困難な生徒に対し、必要な学資を給付する。

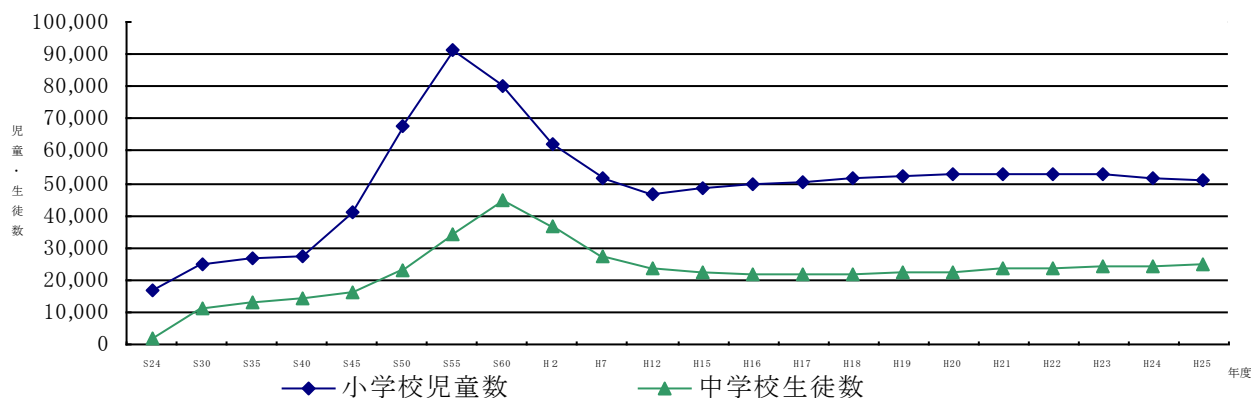
8 学校・家庭・地域・行政が一体となって、子どもの成長をサポートする

①学校・家庭・地域・行政の連携による取り組みの推進

子どもの夢をはぐくむ学校サポート推進事業(再掲)

■小・中学校児童生徒数の推移

年	校種	小 学 校			中 学 校		
		学 校 数	学 級 数	児 童 数	学 校 数	学 級 数	生 徒 数
昭和 25 年		14 校	333 学級	16,635 人	7 校	133 学級	2,142 人
30		26	541 1/2	24,936	13	231	11,325
35		36	583	26,862	18	276	13,148
40		44	703	27,134	21	335	14,385
45		57	1,097	41,076	26	392	15,955
50		83	1,811	67,570	36	574	23,154
55		99	2,365	91,041	44	837	34,370
60		110	2,150	80,307	51	1,079	44,864
平成 2 年		110	1,890	61,850	52	977	36,686
7		114	1,698	51,695	54	913	27,621
12		118	1,560	46,539	56	701	23,477
15		119	1,627	48,674	56	662	22,231
16		119	1,661	49,439	56	647	21,728
17		120	1,698	50,620	56	657	21,497
18		120	1,742	51,604	56	668	21,638
19		120	1,791	51,877	57	698	22,273
20		120	1,822	52,781	57	714	22,644
21		120	1,844	52,941	57	745	23,308
22		120	1,854	52,848	57	745	23,346
23		117	1,854	52,569	57	767	24,076
24		116	1,857	51,734	57	769	24,313
25		113	1,833	51,037	56	784	24,558



■学校施設整備計画

1 平成 25 年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	学 校 名 ・ 事 業 内 容	事 業 費
教 室 不 足 解 消	(校舎棟(賃貸借)) 宮野木小・平山小・稲丘小・新宿小・幕張南小・扇田小・美浜打瀬小・おゆみ野南小・金沢小・蘇我小・星久喜小・幕張西小・幕張西中・新宿中・蘇我中・打瀬中・養護・第二養護 (校舎内部改修) あすみが丘小・おゆみ野南中	346, 776
エレベーター設置	(設置工事) 幕張小・都小・金沢小・幕張西中・小中台中・さつきが丘中	246, 800
校 舎 ・ 渡 り 廊 下 耐 震 補 強	(補強計画策定) 新宿小・大森小・仁戸名小・さつきが丘東小・北貝塚小・更科小・畑小・誉田小・犢橋小・誉田東小・平山小・鶴沢小・花見川第一小・千城台東小・千城台南小・桜木小・末広中・更科中・土気中・小中台中・誉田中・緑町中・千城台南中・犢橋中・花見川第一中 (実施設計) 鶴沢小・千城小・桜木小・松ヶ丘小・高洲第三小・西小中台小・千草台東小・轟町小・白井小・平山小・磯辺第三小・花見川第一小・高洲第四小・花見川第二小・真砂第五小・千城台旭小・千城台西小・千城台東小・千城台南小・草野中・犢橋中・幸町第二中・花見川第一中・花見川第二中・高洲第二中・千城台南中・第二養護 (補強工事) 柏台小・稲毛第二小・みつわ台南小・草野小・土気小・坂月小・花園小・生浜西小・柏井小・源小・川戸小・作新小・登戸小・都賀の台小・宮崎小・上の台小・こてはし台小・大巖寺小・院内小・都賀小・高浜第一小・検見川小・蘇我中・天戸中・葛城中・大宮中・幕張中・みつわ台中・幕張西中・緑が丘中・高浜中・さつきが丘中・山王中・稲毛高 ◎補強工事に伴う備品移動等は当初予算、その他は 24 年度予算の繰越明許による	4, 581, 155
屋 内 運 動 場 耐 震 補 強	(耐震診断及び実施設計) 真砂第五小・花見川第一小・花見川第二小・花見川第三小・花島小・園生小・千城台旭小・稲丘小・高洲第二中・花見川第一中・千城台西中・稲毛高 (実施設計) 院内小・犢橋小・こてはし台小・さつきが丘西小・小倉小・桜木小・北貝塚小・大宮台小・作新小・誉田東小・幕張南小・都賀の台小・大宮中・白井中・第二養護 (補強工事)	876, 721
学校適正配置改修	(補強計画策定及び改修実施設計) 旧幸町第四小 (改修工事他) 真砂東小・磯辺小・磯辺中	850, 605
新宿地区における 校 舎 増 築	(増築工事他) 新宿小・新宿中 (給食室増築工事) 新宿小	554, 150
高等特別支援学校 整 備	(耐震補強工事他) 高等特別支援学校・養護学校真砂分校	167, 300
屋内運動場非構造 部 材 等 耐 震 対 策	(耐震診断・実施設計) 新宿小・上の台小・磯辺第三小・磯辺小・朝日ヶ丘小・小谷小・大椎小・有吉小・打瀬小・金沢小・扇田小・加曽利中・誉田中・土気中・山王中・朝日ヶ丘中・貝塚中・越智中・打瀬中・幕張本郷中・土気南中・有吉中 (吊天井落下防止対策工事) 新宿小・新宿中・大椎中	225, 015

2 過去3か年の校舎等建設内訳

事業名	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	学校・教室数	面積 m ²	学校・教室数	面積 m ²	学校・教室数	面積 m ²
教室不足解消事業	27 室	3,391	18 室	2,040	8 室	980
大規模改造事業	6 校	—	3 校	—	5 校	—

■研修及び研究奨励事業等の概要

1 基本研修・専門研修

初任教員、初期教員、中期教員、後期教員、校長、教頭、教務主任、研究主任、進路指導主事、各教科等主任

2 教育研究奨励及び研修助成

- | | | | |
|------------|-----|------------|---------------|
| (1) 現場研究員 | 55人 | (3) 団体研究委託 | 1団体(千葉市教育研究会) |
| (2) 海外派遣補助 | 15人 | (4) 教育研究奨励 | 25人 |

3 児童・生徒の成果発表、学習会

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| (1) 絵をかく会 | (6) 生徒理科学習会・生徒理科実験会 |
| (2) 総合展覧会 | (7) 児童理科実験会、植物観察会、天文学習会 |
| (3) 小学校音楽発表会 | (8) 中学校英語発表会 |
| (4) 中学校音楽発表会 | (9) 文集・詩集「ともしび」、読書感想文集「本だな」の発刊 |
| (5) 理科研究相談会 | |

4 指導資料の作成及び配布

- | | |
|-----------------------|------------|
| (1) わたしたちの千葉市、伸びゆく千葉市 | (3) 各種研究資料 |
| (2) 千葉市の特別支援教育 | (4) その他 |

5 副読本の配布(児童生徒用)

- 小学校3・4年生用「わたしたちの千葉市」
- 中学校用「伸びゆく千葉市」

■平成 25 年度 研究学校

1 千葉市指定研究学校

No.	学 校 名	研 究 主 題	研究内容・教科	指定期間	報告会
1	川 戸 中 学 校 《教育課題》	9年間で育てていきたい「生きる力」をはぐくむ 指導の工夫 ～小中の学びの連続性を考えて～	小・中学校の連 携の推進	平 24～25	H25. 11. 8
2	川 戸 小 学 校 《教育課題》				
3	おゆみ野南小学校 《教育課題》	論理的に考える子の育成 ～書いて考える言語活動を通して～	言語活動の充実	平 24～25	H25. 11. 14
4	弁 天 小 学 校 《教育課題》	豊かな心をもち確かに学ぶ子どもの育成 ～学びをつなぐ学校図書館～	学校図書館教育 の推進	平 24～25	H25. 11. 22
5	寒 川 小 学 校 《教育課題》	かかわり合いを通して、粘り強く取り組む子どもの育 成	かかわり合いを 中核とした学校 教育	平 25～26	未定
6	緑 町 中 学 校 《教育課題》	豊かな表現力を育むための言語活動の充実 ～電子黒板の効果的な活用を通して～	I C T 活用	平 25～26	未定
7	星 久 喜 小 学 校 《学習指導》	心ゆさぶる学びの創造 ～国語科、社会科における思考力・判断力・表現力の育成～	国語、社会	平 24～25	H25. 11. 26
8	土 気 南 小 学 校 《学習指導》	思考力を高め合うための学習指導（国語・理科） ～話し合い活動を通して～	国語、理科	平 24～25	H25. 11. 27
9	海 浜 打 瀬 小 学 校 《学習指導》	自ら問える子を育てる算数学習	算数	平 24～25	H25. 11. 19
10	都 賀 中 学 校 《学習指導》	生きる力を育むための教育実践のあり方 ～「夢」を育てる授業づくりの工夫～	全教科	平 24～25	未定
11	千 草 台 小 学 校 《学習指導》	自ら考え、共に学ぶ子どもの育成 ～算数科の学習指導を通して～	算数	平 25～26	未定
12	幸 町 第 二 中 学 校 《学習指導》	豊かな表現で伝えることができる生徒の育成 ～意欲的に取り組ませる学習活動の工夫～	全教科	平 25～26	未定
13	稲 毛 中 学 校 《学習指導》	知識・技能を活用できる生徒を育てる指導 ～「各教科等における言語活動に関する能力」の指導 の工夫を通して～	全教科	平 25～26	未定
14	小 中 台 中 学 校 《道徳》	「生きる力」を育むための指導法の工夫 ～各教科等における道徳教育の進め方を通して～	道徳教育	平 24～25	未定
15	幕 張 東 小 学 校 《道徳》	自己を磨き、豊かな心をはぐくむ道徳教育の創造 ～各教科等を生かした心に響く指導方法の工夫～	道徳教育	平 25～26	未定
16	あやめ台小学校 《特別支援教育》	豊かな心を持ち、主体的に学ぶ子どもの育成 ～自分の思いや考えを伝え合う活動を通して～	特別支援教育	平 24～25	未定
17	蘇 我 小 学 校 《体育指導》	自ら課題を追求し、主体的に学ぶ子どもの育成 ～できるよろこび、わかる楽しさを求めて～	体育	平 24～25	H25. 11. 12
18	こてはし台中学校 《保健体育指導》	自ら考え、運動に取り組む生徒の育成 ～言葉の力を大切にした体験学習を通して～	保健体育	平 25～26	未定
19	生 浜 西 小 学 校 《健康教育》	よりよい自分を目指して、健康的な生活を営む児童の 育成	体育・保健・ 給食等指導	平 24～25	H25. 12. 6

2 千葉市指定推進校

①ボランティア教育推進

学 校 名								期 間
1	椿 森 中 学 校	3	轟 町 中 学 校	5	高 洲 第 一 中 学 校	7	天 戸 中 学 校	平 25
2	貝 塚 中 学 校	4	大 椎 中 学 校	6	おゆみ野南中学校			

②幼・保・小関連教育推進 (〇は幹事校)

学 校 名			行政区	期 間
1	〇寒川小学校	都小学校	中 央 区	平 25
2	〇さつきが丘西小学校	さつきが丘東小学校	花 見 川 区	
3	〇柏台小学校	宮野木小学校	稲 毛 区	
4	〇都賀の台小学校	源小学校	若 葉 区	
5	〇土気小学校		緑 区	
6	〇高洲第三小学校	高洲第四小学校 真砂第五小学校	美 浜 区	

③地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

学 校 名			期 間
1	松ヶ丘中学校	松ヶ丘小学校 仁戸名小学校	平 25

3 文部科学省指定研究学校等

①学力把握実践研究協力校

学 校 名			期 間
1	稲毛高等学校		平 25

②学習指導実践研究協力校

学 校 名			期 間
1	瑞穂小学校	蘇我小学校 打瀬中学校 こてはし台中学校 おゆみ野南中学校	平 25

③健全育成のための体験活動推進事業

学 校 名										期 間
1	扇 田 小 学 校	11	稲 浜 小 学 校	21	生 浜 西 小 学 校	31	千 城 台 旭 小 学 校	平 25		
2	川 戸 小 学 校	12	千 城 台 東 小 学 校	22	大 宮 小 学 校	32	幕 張 南 小 学 校			
3	小 中 台 南 小 学 校	13	花 見 川 第 一 小 学 校	23	大 宮 台 小 学 校	33	横 戸 小 学 校			
4	若 松 小 学 校	14	花 見 川 第 二 小 学 校	24	坂 月 小 学 校	34	みつわ 台 南 小 学 校			
5	若 松 台 小 学 校	15	花 島 小 学 校	25	宮 野 木 小 学 校	35	西 小 中 台 小 学 校			
6	土 気 南 小 学 校	16	千 草 台 小 学 校	26	幕 張 東 小 学 校	36	山 王 小 学 校			
7	あすみが丘小学校	17	源 小 学 校	27	誉 田 東 小 学 校	37	小 中 台 小 学 校			
8	大 木 戸 小 学 校	18	弁 天 小 学 校	28	長 作 小 学 校	38	椎 名 小 学 校			
9	越 智 小 学 校	19	作 新 小 学 校	29	さつきが丘東小学校	39	千 城 台 北 小 学 校			
10	大 巖 寺 小 学 校	20	寒 川 小 学 校	30	さつきが丘西小学校					

④インクルーシブ教育システム構築モデル地域(交流及び共同学習)

学 校 名			期 間
1	真砂東小学校	真砂西小学校 真砂中学校 幸町第二小学校(きこえの教室)	平 25

【その他】

ONIE実践校(千葉県NIE推進協議会)

学 校 名			期 間
1	千草台中		平 24～25

○福祉教育(ボランティア活動)推進協力校(千葉市社会福祉協議会)

学 校 名			期 間
1	新宿小学校	稲毛小学校 花園小学校 千城台北小学校 幕張西小学校	平 23～25
2	寒川小学校	都賀小学校 こてはし台小学校 北貝塚小学校 高洲第四小学校	平 24～26
3	園生小学校	更科小学校 宮崎小学校 瑞穂小学校 真砂東小学校	平 25～27

○福祉教育研究大会開催協力校

学 校 名			期 間
1	高浜中学校		平 25

○千葉市環境学習モデル校(環境保全部環境保全課)

学 校 名		行政区		学 校 名		行政区		期 間
1	生浜小学校	中	央 区	7	末広中学校	中	央 区	平 25
2	長作小学校	花	見 川 区	8	幕張中学校	花	見 川 区	
3	稲毛小学校	稲	毛 区	9	緑町中学校	稲	毛 区	
4	小倉小学校	若	葉 区	10	山王中学校	若	葉 区	
5	平山小学校	緑	区	11	大椎中学校	緑	区	
6	打瀬小学校	美	浜 区	12	真砂中学校	美	浜 区	

■学校体育・学校保健・学校給食

1 教職員研修

(1) 経営研修

体育・保健体育主任、保健主事、保健指導主任、養護教諭、給食指導主任、栄養教諭、学校栄養職員、給食従事職員、安全指導主任、各研修会

(2) 専門研修

小学校陸上球技審判講習会、体育指導者合宿講習会、学校体育経営推進研修会、学校給食研究協議会、学校給食調理員講習会等、学校体育実技・運動部活動指導者講習会

他に、教育センター主管のもとに、表現運動・ダンス実技、学校体育科、健康教育の研修会

(3) 派遣事業

学校体育実技指導協力者派遣事業、中学校運動部活動指導者派遣事業、小学校プール管理補助員派遣事業

2 学校体育関係事業

(1) 大会・発表会

- ・小学校関係 表現運動発表会、陸上大会、球技大会
- ・中学校関係 市総合体育大会、市新人スポーツ大会、県及び関東・全国体育大会選手派遣

(2) 運動能力検定・運動能力証合格状況(平成24年度)

項 目 種 類	級別合格者数			合格者合計	合格率
	A級	B級	C級		
市 小学校運動能力検定	587	856	2,981	4,424	26.2%
県 運動能力証(小学校)				4,572	26.1%
〃 〃 (中学校)				6,261	26.1%

(3) 泳力調査結果(平成24年度)

- ・小学校(25m以上泳げる者の割合)

学 年	3 年			4 年			5 年			6 年		
性 別	男	女	全	男	女	全	男	女	全	男	女	全
割合(%)	43.4	38.8	41.1	64.0	60.1	62.1	81.3	78.5	80.0	90.7	89.1	89.9

- ・中学校(50m以上泳げる者の割合)

学 年	1 年			2 年			3 年		
性 別	男	女	全	男	女	全	男	女	全
割合(%)	69.7	57.8	63.7	73.1	59.2	66.3	79.3	64.7	72.5

3 学校保健関係事業

(1) 定期健康診断より体位平均値(平成24年度)

小中別	小 学 校				中 学 校					
学年 性別 項目	5		6		1		2		3	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身長 cm	138.9	140.5	145.3	147.1	152.3	152.0	159.5	155.0	165.3	156.7
体重 kg	34.1	33.9	38.5	38.8	43.6	43.4	48.5	46.9	53.8	49.8
座高 cm	74.8	76.0	77.7	79.2	81.1	82.1	84.7	83.8	88.2	84.9

(2) 心臓疾患健診 (平成 24 年度)

心電図検査	対 象 学 年		受診者数	所見者数	異常なし	
	小 学 校 1 年		8,022	292	7,730	
	中 学 校 1 年		8,028	416	7,612	
	特別支援学校小1、中1年		25	2	23	
精密検査	精密検査対象理由		学校別	受診者数	要 管 理	管理不要・異常なし
	心 電 図 検 査 か ら	小	95	22	73	
		中	130	29	101	
		特	0	0	0	
	前 年 度 か ら の 経 過 観 察 者	小	31	16	15	
		中	40	19	21	
		特	1	1	0	
	定 期 健 康 診 断 か ら	小	15	2	13	
		中	16	3	13	
		特	0	0	0	

(3) 学校尿検査 (平成 24 年度) 17 年度より経過観察者も 2 次受診、精検は新規者のみ受診

対 象 者	1 次受診者数	2 次受診者数	精検受診者数	所 見 者 数
76,283	74,968	2,347	405	299
1 次受診者に対する割合		3.13%	0.54%	0.40%

(4) 脊柱側弯症健診 (平成 24 年度)

	受診対象者	受診者数	有 所 見 者 数		異常なし
モアレ撮影	小 6 年	8,826	492		8,334
低線量 X 線	小・中学生	1,124	次年度検 212	フィルム判定 246	666
フィルム判定結果	小・中学生	246	要治療 40	要観察 206	

(5) 結核健診 (平成 24 年度)

項 目	問診調査		精 密 検 査				
	問診調査実施者	要検討者	精密検診検討者	書類審査のみ	精密検診受診者	有所見者	異常なし
小 学 校	51,721		218	30	180	1	179
中 学 校	24,242		49	4	43	0	43
特別支援学校	114		0	0	0	0	0

(6) 口腔衛生指導 (平成 24 年度)

歯 科 衛 生 士	学 校 数	指 導 内 容 別 対 象 者 (人)	
		歯 みがき指導	保護者参観
3 (内 1 は非常勤職員)	165 (特別支援学校 2)	17,050	956

(7) 歯と口の健康づくり啓発事業 (平成 24 年度)

○実施校

実施中学校地区	実施日	学 校 名	児童生徒数 (人)	担当歯科医師 (人)
大宮中学校区	7 月 5 日	大 宮 中 学 校	185	18
	7 月 12 日	大 宮 小 学 校	181	22
	9 月 20 日	大 宮 台 小 学 校	112	12
天戸中学校区	9 月 6 日	長 作 小 学 校	300	31
	9 月 27 日	天 戸 中 学 校	404	32
	11 月 17 日	作 新 小 学 校	554	43
末広中学校区	11 月 22 日	末 広 中 学 校	255	23
	12 月 6 日	寒 川 小 学 校	562	42

○指導内容一実施時間小学校 45 分、中学校 50 分で行う
1 学級につき、2 名の歯科医師と担任が担当

	学 年	テ ー マ
小 学 校	低 学 年	「第一大臼歯を大切にしよう」
	中 学 年	「歯のつくりと働きを知ろう」
	高 学 年	「歯と歯肉の病気（歯周病）を予防しよう」
中 学 校		「自分の健康は自分で守ろう」

(8) 自然教室推進事業（前期・後期）（平成 24 年度）

場 所	開設学校数	対 象 学 年	学 級 数	生 徒 数
高 原 千 葉 村	57 校	2 学年	237 学級	7,983 人

(9) 日本スポーツ振興センター（平成 24 年 4 月加入）

○加入者数及び共済掛金額

学 校 種 別	加 入 者 数 (人)	共 済 掛 金 額 (円)
小 学 校	51,940	47,786,550
中 学 校	24,317	22,626,265
特 別 支 援 学 校	269	391,465
合 計	76,526	70,804,280

中途加入者 307 人

○共済給付金

92,199,643 円

・医 療 費 69,199,643 円 11,185 件

・障害見舞金 9,000,000 円 2 件

・死亡見舞金 14,000,000 円 1 件

○学校管理下の災害における請求件数 14,032 件

○場所別災害発生件数 (件)

場 所	校 舎 内	校 舎 外	学 校 外	合 計
学校種別				
小 学 校	1,463	1,444	318	3,225
中 学 校	1,319	1,187	353	2,859
合 計	2,782	2,631	671	6,084

○場合別災害発生件数 (件)

場 合	各 教 科		課外指導	休 憩 時	登 下 校	特別活動		合 計
	体 育	そ の 他				学校行事	児童生徒活動	
学校種別								
小 学 校	690	220	118	1,436	210	157	394	3,225
中 学 校	605	73	1,428	394	36	231	92	2,859
合 計	1,295	293	1,546	1,830	246	388	486	6,084

○災害種類別被災人数 (人)

場 合	骨	捻	脱	打 挫	挫	切	刺	裂 割	擦 過	火 熱	歯 牙	そ の	合
学校種別	折	挫	臼	撲 傷	創	創	創	創 創	傷	傷	破 折	他	計
小 学 校	623	623	90	1,120	271	61	23	36	37	18	46	277	3,225
中 学 校	715	650	44	862	101	40	12	10	14	13	15	383	2,859
合 計	1,338	1,273	134	1,982	372	101	35	46	51	31	61	660	6,084

(10) 医療費援助事業（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）

上段：(人) 下段：円

学校種別	疾病種別 準要別	トラコーマ	結膜炎	中耳炎	副鼻腔炎	アデノイド	う歯	皮膚疾患	寄生虫病	合計
小学校	要保護				(7) 151,750		(37) 563,410			(44) 715,160
	準要保護			(1) 2,300	(21) 77,000		(201) 778,239			(223) 857,539
	計			(1) 2,300	(28) 228,750		(238) 1,341,649			(267) 1,572,699
中学校	要保護				(1) 1,730		(12) 381,390			(13) 383,120
	準要保護				(1) 810		(75) 431,027			(76) 431,837
	計				(2) 2,540		(87) 812,417			(89) 814,957
合計				(1) 2,300	(30) 231,290		(325) 2,154,066			(356) 2,387,656

4 学校給食の状況

(1) 実施状況 (H24. 5. 1 現在)

○小学校

○特別支援学校

方式	学校数(校)	児童数(人)	実施率	方式	学校数(校)	児童・生徒数(人)	実施率
単独調理場方式	116	51,731	100%	単独調理場方式	2	268	100%

○中学校 *各給食センターそれぞれ2献立方式採用、若葉学校給食センターの調理業務は民間委託で実施。
新港・大宮学校給食センターはPFI方式で実施。

方式	給食センター名	学校数(校)	担 当 中 学 校	生徒数(人)	実施率
共同調理場方式	若葉学校給食センター	15	花園・犢橋・幕張・稲毛・花見川第一・こてはし台・さつきが丘・草野・幕張西・緑が丘・花見川第二・天戸・朝日ヶ丘・幕張本郷・稲毛高附属	6,803	100%
	新港学校給食センター	19	緑町・小中台・新宿・蘇我・轟町・千草台・幸町第一・高洲第一・都賀・高洲第二・みつわ台・高浜・幸町第二・磯辺第一・山王・稲浜・磯辺第二・打瀬・真砂	8,363	100%
	大宮学校給食センター	23	加曽利・末広・葛城・椿森・生浜・誉田・松ヶ丘・白井・更科・川戸・土気・千城台西・星久喜・大宮・千城台南・若松・貝塚・越智・泉谷・土気南・有吉・大椎・おゆみ野南	9,107	100%
	計	57		24,273	100%

(2) 給食費

区分	一食単価(円)
小学校	低学年 248
	高学年 266
中学校	282

(3) 就学奨励事業（平成 24 年度）

	準要保護児童・生徒給食費補助		特別支援学級児童・生徒給食費補助	
	対象人数(人)	補助額(県費及び市費)(円)	対象人数(人)	補助額(国費及び市費)(円)
小学校	3,778	167,633,441	332	7,345,286
中学校	2,320	109,300,835	189	4,299,935
計	6,098	276,934,276	521	11,645,221

■特別支援教育

1 特別支援学校及び特別支援学級等の設置状況

平成 25 年 5 月 1 日現在

種 別 学級数 児童・生徒数	特別支援学校			特 別 支 援 学 級 等											合計
	知 的 障 害			知的障害		自閉・情緒		言 語		難 聴		病虚弱		小計	
	小	中	高	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中		
学 級 数	16 (1)	10	27	86	43	34 [9]	22 [2]	15 [15]	0	4 [1]	0	2	0	206 [27]	260 (1) [27]
児 童 ・ 生 徒 数	70 (2)	40	184	399	237	116 [82]	104 [23]	138 [164]	0	26 [7]	0	3	0	1,023 [276]	1,317 (2) [276]

- ・特別支援学校の学級数、児童生徒数欄の（ ）は訪問教育の数で内数。
 ・自閉・情緒は市立青葉病院の病院内学級を含む。
 ・通級指導教室は〔 〕で外数。
 ・病虚弱は、市立海浜病院、千葉医療センターの病院内学級を含む。

2 特別支援学校

知的発達の遅滞があり意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする子ども及びその程度には至らないが社会生活への適応が著しく困難な子ども等を対象にして、生活上必要な知識や技能、態度を身に付けさせ、社会的に自立できる人間を育成するため昭和 39 年 4 月、千葉市立養護学校を設立した。

次いで、障害のある児童生徒の急増と養護学校の義務制に対応して、昭和 53 年 4 月に千葉市立第二養護学校を設立した。

また、昭和 54 年の養護学校の義務制の実施により、在宅していたり、施設に入っていたりする障害のある児童生徒に対する訪問教育を養護学校に移管して実施している。

平成 3 年 4 月、千葉市花見川区大日町に県立千葉養護学校(知的障害)が開校された。(県立千葉特別支援学校)

平成 3 年 9 月、千葉市立養護学校は全面改築により新校舎に移転し、特別支援教育の一層の充実に努めている。

平成 25 年 4 月、軽度の知的障害のある生徒を対象にし、社会自立・職業自立を目指す市立高等特別支援学校を開設した。

3 特別支援学級等

特別支援学級と通級指導教室の設置校は、小学校 73 校、中学校 34 校、計 107 校で、学級数は上表のとおりである。

小学校の知的障害学級では、児童の特性に応じて基本的生活習慣の確立、体力づくり、社会生活に必要な言語や数量などの指導を行っている。

中学校の知的障害学級では、対人関係や集団参加を円滑にするための指導や、職業生活・家庭生活に必要な知識・技能、態度を身に付ける指導も行っている。

近年、通常の学級の児童生徒や地域の人たちとの交流及び共同学習が活発に行われ、理解と認識が深まる等多くの成果を得てきている。

自閉症・情緒障害学級は、小・中学校に設置している学級の他、千葉市立青葉病院にも設置している。

対象児は年々増加傾向にあり、医学的見地からの助言も得ながら、指導に万全を期している。

言語障害・難聴学級は、障害の特性から、普段は通常の学級で教科等の指導を受け、障害の改善、軽減及び克服のための指導を週に必要回数受けるという通級方式による指導の形態をとっている。指導の効果をさらに高めて行くために、通常の学級の担任や保護者との連携を深めている。

平成 6 年度から徐々に通級指導教室に切替えており、現在、言語障害通級指導教室を 7 校 15 教室設置している。

平成 13 年度から、通常の学級に在籍している難聴生徒に対して、県立千葉聾学校の教員による通級指導が聾学校通級サテライト教室（今年度 1 校）において実施されている。また、平成 14 年度に、通常の学級に在籍している情緒障害児童に対して指導を行う情緒障害通級指導教室を、花見川第三小学校に設置し、平成 18 年度には、あやめ台小学校と旧高浜第二小学校（現・高浜海浜小学校）、平成 19 年度には、小倉小学校と菅田東小学校、平成 20 年度には、花見川第二中学校、平成 21 年度には、鶴沢小学校に、平成 24 年度には、末広中に設置している。平成 19 年度に、名称を LD 等通級指導教室とし、知的発達の遅れはないが行動上の問題等が見られる児童への通級による指導を行っている。平成 25 年度は、小・中学校を合わせて 11 教室設置している。

病・虚弱学級は、国立病院機構千葉医療センター内に1、千葉市立海浜病院に1、新宿小学校内に1、計3学級を設置し、体調、病状を把握しながら指導を行っている。

4 就学相談及び就学指導

障害等のある児童生徒の就学については、学識経験者、医師、教育職員等20人からなる就学指導委員会を組織するとともに、教員39人を調査員として委嘱・任命し、調査等を常時行える体制を整え、千葉市養護教育センターとの連携を図りながら、望ましい就学指導ができるように万全を期している。

■教育センター

学校教育部所属
第1類教育機関

本市教育の充実と発展のため以下の事業を推進する。教育課題解明のための調査・開発研究、教職員の専門的資質の向上を目指す教職員の研修、教育内容の質的向上に資する資料収集と情報の提供、情報教育推進のための調査研究及び教育情報ネットワークに関する業務、児童生徒等に対する教育相談を行う。



▲教育センター

〔各部門の事業概要〕

◆情報教育部門

1 事業方針

- (1) 情報機器及び情報通信網を活用した情報教育の推進に関する企画・指導・助言を行う。
- (2) 情報機器及び情報通信網を活用した情報教育に関する調査及び研究を行う。
- (3) 教育情報ネットワークの保守管理と教育情報・学習情報のオンライン提供に努める。
- (4) 「教育の情報化」に関する調査・資料提供・環境整備を行う。

2 事業計画

- (1) 情報教育推進に関する企画、指導及び助言
 - ① 教職員研修及び校内研修の充実
情報活用能力の育成を図るための教職員研修を14講座25組開催。
また、実態に応じた研修を実施するために、希望に応じて校内研修等に講師を派遣する。
 - ② 情報教育支援員による学校の情報教育支援
各学校のネットワーク利用教育を支援するため、情報教育通信網の保守管理及び操作法等に関する相談に応える。
- (2) 情報教育に関する調査及び研究
 - ① 教科指導におけるICT活用と情報教育の推進
学校における児童生徒の主体的な問題解決学習を支援するため、学習コンテンツの整備を行う。
「千葉市小中学校版情報モラル教育カリキュラム」及び、「情報モラルコンテンツ」を活用した、情報モラル教育を推進する。
 - ② 校内LANを生かした情報教育機器活用に関する研究
効果的なICT活用に関する指導法の研究を行い、ICT活用指導の実践を通じた資料を作成する。
 - ③ 情報教育に関する調査の実施
文部科学省実態調査、千葉市独自の情報教育実態調査、「教育の情報化」に関する実態調査を継続して実施する。

- ④ 急速に進歩する情報システムに係わる調査・研究
オープンソース方式、拠点サーバのホスティング方式など、セキュリティを向上させるための新しいシステムに関する調査研究を進めるとともに、トータルコスト抑制に関するシステムの研究を推進する。
- (3) 教育情報ネットワークの保守管理と教育情報・学習情報のオンライン提供
 - ① 小学校PC室40台化の実現に努める。
 - ② 千葉市教育情報ネットワーク(Cabinet)の適切な保守管理・運用に努める。
- (4) 「教育の情報化」に関する調査・資料提供・環境整備
 - ① 大規模改修校等の校内LANの整備を行う。
 - ② 教育用と校務用を併用できるセキュリティ性の高い情報端末及びネットワークシステムの活用を促進する。

◆教育広報部門

1 事業方針

- (1) 学校における研究・研修・学習指導を支援するため、教育に関する広報及び教育資料や情報の収集・整備・提供を行う。
- (2) 教育用ソフトウェアライブラリーを設け、コンピュータ利用教育の推進に資する。
- (3) 学校ホームページ・教育センターホームページの充実と教育情報・学校情報等の拡充に努める。

2 事業計画

- (1) 教育に関する情報の収集・整備・提供
 - ① 教育図書の収集
教育専門図書室としての機能を果たすため、教育関係者の利用に資する図書を各分野にわたって収集する。
 - ② 教育資料・教育情報の提供
「教育センターNews」を年7回ホームページで発信し、最新の情報の提供に努める。また、教育図書の利用を促進する。
 - ③ 教育情報・学習情報の電子情報化の推進
教育図書・資料及び学習資料を迅速かつ的確に提供するため、電子情報化を図り、ネットワークによる提供を進める。
- (2) 教育用ソフトウェアの収集・提供
最新の教育用ソフトウェアを収集・整理する。
- (3) Cabinetのポータルサイトの管理運営
 - ① 学校ホームページの更新促進と作成支援
 - ② 教育センターホームページの充実

◆教育研究部門

1 事業方針

- (1) 課題研究の推進
 - ① 新しい教育の創造を目指した研究の推進
本市の教育施策や国・他府県・政令市の動向を踏まえ、先見性のある課題研究を進める。
 - ② 教育現場で活用できる研究の推進
現場のニーズや問題の所在を把握して課題設定を行い、必要度の高い研究を推進する。
- (2) 研究成果の普及
 - ① 千葉市情報ネットワークによる成果の配信
 - ② 出前講座による積極的な研究成果の普及
 - ③ 研究協力員・協力校との連携
研究協力員の在籍校や研究協力校を中心に実践を広げるよう働きかける。
- (3) 研究の奨励
 - ① 千葉市教職員教育研究発表会の実施
教職員の資質と指導力の向上を目指し、幅広く応募を求め発表の機会を提供する。また、本市教職員の教育水準の向上に資する研究を奨励する。
 - ② 長期研修共通研修の運営
長期研修生が研究・研修の成果を上げられるよう、適切な事務局運営に努める。

(4) 教育研究機関との共同研究

他の教育研究機関との共同研究を推進することにより、本市の教育課題の解明に役立てる。

(5) 教育文献・教育資料の収集

教育関係機関、出版社及び市内各学校から教育情報・研究紀要・調査報告書を収集し、教職員の活用に資する。

2 事業計画

(1) 課題研究

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| ① 確かな学力の育成に関する研究Ⅱ | ⑤ 育てる教育相談に関する研究 |
| ② 校内 LAN を生かした情報機器活用に関する研究 | ⑥ 教師力アップのための校内研修の在り方 |
| ③ 理科教育に関する研究 | ⑦ 学校事務に関する研究 |
| ④ 子どもの学習意識の推移に関する研究Ⅱ | |

(2) 研究成果の普及

- ① 出前講座による積極的な研究成果の普及

(3) 研究の奨励

- ① 第 34 回千葉市教職員教育研究発表会の実施
② 平成 25 年度長期研修における事務局運営

(4) 他の教育研究機関との共同研究

- ① 全国教育研究所連盟・所長協議会への参加・協力
② 関東地区教育研究所連盟事業への参加・協力
③ 指定都市教育研究所連盟との共同研究推進
④ 千葉県教育研究所連盟との共同研究推進

(5) 教育文献・教育資料の収集

【教育図書・資料の収集状況】

	平成 24 年度	平成 25 年度予定数
教育関係図書	18,628 冊	19,028 冊
教育関係雑誌	17,399 冊	17,899 冊
教育関係資料	20,627 冊	20,927 冊



▲第 33 回千葉市教職員教育研究発表会

◆教職員研修部門

1 事業方針

教職員に望まれる資質能力の向上を目指した教職員研修を推進し、新しい教育観の確立とともに、教育内容と方法の改善に対応できる指導力の向上や教職員自身の豊かな人間性を培う。

また、それぞれの年齢、経験年数を踏まえ、層別に研修が進められる研修プログラムを企画し、教職員の専門的能力の向上を図る。

2 事業計画

教職員の研修事業は、「千葉市教職員研修体系」に基づいて、基本研修、専門研修を実施する。

(1) 基本研修

- ① 教職経験年数の節目において基本的に必要な資質能力の向上を図る研修であり、指導力の深化伸長、拡充を図る。
② 学校教育の活性化を図るため、千葉市学校教育の課題を取り上げながら、管理職（校長・教頭）・教務主任として、新任時や昇任時に必要とする体系的知識を身に付ける。

(2) 専門研修

- ① 指導力の向上を目指し、見識を広めたり深めたりするために、教育課題に対応した研修をし、教職員としての資質能力の向上を図る。
② 職能に応じた研修
校長、教頭、教務主任、学年主任・学級担任や養護教諭、栄養職員、学校事務職員等、職能別にその力量の向上を図る。

＜平成 25 年度教職研修講座の特徴＞

（１）基本研修

各層、各職における受講者の主体的な研修となるように課題別・参加型研修の充実を図る。

また、指定研修として「情報セキュリティ研修」、「電子黒板研修」、「Cabinet 校務用システム操作研修」を実施する。

本年度より推奨研修として「２，３年目研修（リレー研修）」を実施し、初任者研修で身につけたものを基に実践的指導力の促進を図る。

（２）専門研修

- ① 社会情勢や学校現場の様子等を鑑み、平成 25 年度は特に子ども理解と支援に関する研修の充実を目指し、講座内容を再構成して実施する。
- ② 「わかる授業」充実のため、小・中別の教科指導の講座を、千葉市教育研究会と連携して実施する。
- ③ 千葉市の研修体系に基づき、教職員のライフステージに応じた経験層による研修のねらいを明確にする。
- ④ 科学館・中央図書館・少年自然の家・企業・ホテルなどと連携を図り、研修を進める。
- ⑤ 喫緊の課題に対応する講座として「アフタヌーンセミナー」を年３回実施する。
- ⑥ 「学校における子ども理解」や「言語活動の充実と学習指導」「校務用システム活用」等の講座を、学校現場のニーズに応じて出前講座として実施する。
- ⑦ 若年層を中心とした教師力の向上を目指し、教科指導や学級経営に必要な具体的指導技術の習得のため、夜間講座を実施する。

＜教育センターにおける研修講座の構成＞

	研修の区分	事業名
基本研修	経験者研修 (４講座)	初任者研修 ５年経験者研修 10年経験者研修 20年経験者研修
	新任時研修 (３講座)	新任教務主任研修 新任教頭研修 新任校長研修
	事務職員研修 (５講座)	初任事務職員研修 事務職員全体研修 事務職員層別研修 事務職員昇任時・経年時研修 事務職員地区別研修
	指定研修 (４講座)	電子黒板研修 情報セキュリティ研修 Cabinet 校務用システム操作研修 不登校対策連絡協議会
	推奨研修 (１講座)	２，３年目研修（リレー研修） ※ 平成 25 年度は 2 年目のみ

	研修の区分	事業名
出前・夜間講座	校内研修支援 (８講座)	出前講座 学校における子ども理解、言語活動の充実、校務用システムの活用 など
	教師力の向上 (６講座)	夜間講座 ビフォーアフター研修、中学校理科、小学校理科、中学校社会、学級経営、小学校国語 など

	研修の区分	事業名
専門研修	わかる授業 (29 講座)	教科等学習指導法講座(市教研連携講座) 小学校英語活動 心を育てる読書教育 豊かな心を育む道德教育 言語活動の充実と評価 など
		情報教育の推進 (21 講座) 情報モラル教育の進め方Ⅰ・Ⅱ 学校ホームページの作成 学習探検ナビ活用 教育用統合ソフトの活用 Office など
	楽しい教室 (9 講座)	子ども理解と支援 カウンセリング・面接法 マインドアップ研修 エンカウンターを生かした学級づくり 子どもの人間関係調整能力を育てるために子どもへの援助の在り方を事例から学ぶ 演習を通じた不登校児童生徒の支援の在り方 Q－Uを活用した学級経営 (アセスメントを生かした学級経営) シグナルⅡでよりよい学級・学年経営づくり 心を支える生徒指導
	夢広がる学校 (9 講座)	今日の課題と新しい学校づくり (5 講座) 学年経営研修 学校の危機管理 校内研修推進 キャリア教育の推進 食と健康
		教職員の幅広い教養 (9 講座) アフタヌーンセミナー①②③ 幼児教育公開講座 現地研修（国語・社会・理科） 市内フィールドワーク など

◆教育相談部門

1 事業方針

教育上の問題や悩みを持つ幼児・小学生・中学生・高校生・高校生年齢の青少年とその保護者及び教職員のための教育相談の充実を図るとともに、市民及び教職員を対象とした教育相談に関する広報活動の推進を図る。

2 事業計画

(1) 教育相談事業

- 教育上の悩みを持つ幼児・小学生・中学生・高校生・高校生年齢の青少年及びその保護者、教職員の相談を実施し、その理解や対応について助言・支援を行う。
 - ・適応指導教室（ライトポート花見川・若葉・中央・美浜・緑）の運営
 - ・家庭訪問相談員派遣
 - ・来所相談（予約制）
 - ・電話相談（随時）
 - ・訪問相談（必要に応じて学校訪問等）
 - ・医療相談（予約制）
 - ・グループカウンセリング活動（来所相談児童生徒が対象）
 - ・IT等を活用した学習

(2) 研修・研究事業

① 研 修

- 教育相談に関する知識・技能の習得及び教職員の資質能力の向上を目指した研修を行う。
（講座等）
 - ・カウンセリング・面接法
 - ・マインドアップ研修
 - ・エンカウンターを生かした学級づくり
 - ・子どもの人間関係調整能力を育てるために
 - ・子どもへの援助の在り方を事例から学ぶ
 - ・演習を通じた不登校児童生徒の支援の在り方
 - ・Q-Uを活用した学級経営（アセスメントを生かした学級経営）
 - ・心を支える生徒指導
 - ・教育相談公開講座
 - ・不登校対策連絡協議会

② 研 究

- テーマ「育てる教育相談の在り方ーマインドアップタイムにおける心の居場所づくりー」

(3) 広 報

- いじめや不登校の未然防止と児童生徒へのより積極的なかわりを目指して、教育相談活動への理解の深化と定着を図る。
 - ・「教育センターNews」等による啓発活動
 - ・「教育相談の案内」を小・中学生、教職員に配布
 - ・教育相談研修講座で既刊の手引書等の活用
 - ・ホームページに事業内容紹介

3 教育相談実施状況（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

電話相談	就学前	小学生	中学生	高校生	在宅	教職員	計
件 数	13	890	1,341	171	6	1,408	3,829

来所相談	就学前	小学生	中学生	高校生	在宅	教職員	計
件 数	5	151	232	29	0	279	696
延べ回数	33	1,786	11,595	129	0	279	13,822

適応指導教室	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
ライトポート花見川	0	0	0	0	0	0	7	11	14	32
ライトポート若 葉	0	0	0	0	1	3	6	8	3	21
ライトポート中 央	0	0	0	0	0	0	4	6	14	24
ライトポート美 浜	0	0	0	0	1	1	2	10	10	24
ライトポート 緑	0	0	1	0	2	1	4	3	4	15
合 計	0	0	1	0	4	5	23	38	45	116

家庭訪問相談員	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
派遣件数	1	3	6	7	7	11	12	15	16	78

■ 養護教育センター

学校教育部所属
第1類教育機関

本市の特別支援教育の充実及び振興を図るため、障害等のある子ども・保護者や教職員からの相談、特別支援教育に関する教育研究、教育関係職員等の専門的資質の向上を目指す研修、特別支援教育に関する資料収集と情報提供を行う。



▲養護教育センター

〔各部門の事業概要〕

◆総務部門 指導企画

1 事業方針

- (1) 特別支援教育全体に係る事項の指導と企画の推進に努める。
- (2) 学校訪問等を通じて、指導内容や方法の改善・充実を図る。
- (3) 文部科学省・県教育委員会及び外郭団体等との折衝・協議を行い、特別支援教育を推進する。

2 事業計画

- (1) 特別支援教育指導員の配置事業
- (2) 特別支援教育体制の推進
- (3) 学校生活サポート事業の推進
- (4) 特別支援学級等備品整備事業
- (5) 特別支援教育担当者会議
- (6) 指導課業務との連携
- (7) その他特別支援教育に関する事項全般

◆教育相談・研究部門

1 事業方針

- (1) 来所相談の充実
- (2) 学校訪問相談の強化
- (3) グループ活動の充実
- (4) 長柄ハッピーキャンプの実施
- (5) 学校や他機関との連携
- (6) 特別支援教育の今日的課題に対応した研究の推進

2 事業計画

(1) 教育相談事業

障害等のある幼児児童生徒、その保護者及び教職員への教育相談

ア 相談の充実

- ・来所相談、電話相談の充実…ケース会議の実施 年4回
- ・学校訪問相談…保育所（園）、幼稚園、小・中学校へ出向いての相談
- ・医療相談………医療面について医師に相談（小児科、精神神経科、耳鼻科）
- ・土曜教育相談…5月から2月までの第3土曜日（8月を除く）に実施
- ・グループ活動…ADHD等の児童生徒を対象に社会性を育てる小集団活動を実施
- ・トワイライト相談…特別支援教育・発達障害等に関する教職員の相談を16:30以降の時間帯で実施

〔来所相談・電話相談実施状況〕 H25.3.31現在

(主訴別)

主訴 区分		生活	学習	意思 言語	身体 運動	集団 適応	就学	進学	その他	合計
来所 相談	受理件数	101	264	46	0	358	221	84	53	1,127
	面接回数	604	1,382	207	0	2,557	697	328	234	6,009
電話相談件数		319	367	65	4	607	301	147	187	1,997

(対象別)

	幼児	小学生	中学生	高校生	保護者	教職員	その他	合計
来所相談件数	223	719	175	7	*1,124	3	0	1,127
電話相談件数	8				1,574	355	60	1,997

*保護者は、幼児、小学生、中学生と同伴のため来所相談件数合計に含めない。

イ 長柄ハッピーキャンプ

- ・グループ活動参加児童及びLD等通級指導教室に通級している児童を対象に実施

ウ 他機関等との連携

- ・LD等通級指導教室や特別支援学校との連携
- ・教育センター、児童相談所、療育センター、県総合教育センター特別支援教育部等との連絡を密にした相談活動の推進

(2) 調査研究事業

ア 研究主題

研究Ⅰ：特別支援学級担任の学習指導の在り方（指導案編）

研究Ⅱ：LD等通級指導教室の現状と課題（調査研究）

イ 研究内容

研究Ⅰ：特別支援学級の授業をするにあたって必要であると想定される指導に関する知識等の情報、実践事例を調査、実践し、指導案をホームページに掲載し提供する。

研究Ⅱ：主に小学校LD等通級指導教室の現状等について調査を実施し、データを整理するとともにその指導効果と今後の課題を明らかにする。今年度は2年計画の1年目で、本調査に備えてプレ調査を実施する。

ウ 研究成果の活用

研究成果をホームページに掲載し、各学校での実践等に役立てるようにする。

◆研修部門

1 事業方針

- (1) 特別支援教育関係職員及び通常の学級担任等を対象とし、教育実践上の諸問題の解決に役立つ研修を行い、専門職としての資質と指導力の向上を図る。
- (2) 特別支援教育に関する図書・資料等を収集・整理し、関係職員の利用に供するとともに、特別支援教育指導資料を作成し、実践上の支援を図る。

また、広報や公開講座を通して情報を提供し、広く市民に特別支援教育の理解推進を図る。

2 事業計画

(1) 教職員研修事業

「千葉市教職員研修体系」を基に、基本研修と専門研修を実施する。

ア 基本研修

- ・特別支援学級等新任担当教員を対象に、基本的に必要な資質力量の向上・充実を図るための研修
- ・発達障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行うため、学校における特別支援教育の推進役となるコーディネーターの養成を図るための研修

イ 専門研修

- ・特別な教育的ニーズに対応するための研修
- ・学習指導等の充実のための研修
- ・心理検査法の習得と活用のための研修
- ・特別支援教育の理解・推進のための研修



▲専門研修「障害のある子どもの体育の指導講座」

＜平成 25 年度教職員研修講座の特徴＞

基本研修講座 5 講座、専門研修講座 30 講座、合計 35 講座を開設する。

ア 特別支援教育を取り巻く多様なニーズに応える幅広い講座の提供

イ 通常の学級担任のニーズに応える講座内容の工夫

ウ 体験・演習を重視した講座の実施

エ 特別支援教育の今日的課題を踏まえた講座内容の工夫

オ 市民を対象とした特別支援教育への理解を深めるための公開講座の充実

＜養護教育センターにおける研修講座の構成＞

研修の構成		講 座 名	
基本研修		特別支援教育新任担当教員研修① 知的、自閉・情緒	特別支援教育新任担当教員研修③ LD等通級
		特別支援教育新任担当教員研修② 言語・難聴	特別支援教育新任担当教員研修④ 病弱・虚弱
		新任特別支援教育コーディネーター研修	

研修の構成		講 座 名	
専門研修	特別な教育的ニーズへの対応	発達障害児の基礎講座（小学校） 発達障害児の指導（小学校編） 発達障害児の基礎講座（中学校） 発達障害児の指導（中学校編） 学習面に困難を示す子どもの理解 行動面に困難を示す子どもの理解 対人関係面に困難を示す子どもの指導 発達障害等の子どもが在籍する学級の実践 障害のあるこどもの教育相談 発達障害等の子どもがいる学級へのサポート 特別支援教育コーディネーターの指導者養成 発達障害児の理解 ～体験学習を通して～	専門研修 学習指導等の充実 障害のある子どもの音楽の指導 障害のある子どもの手遊びうたの指導 障害のある子どもの体育の指導 ことばやきこえの指導 自閉症児の理解と指導 障害のある子どもの国語 障害のある子どもの算数 障害のある子どもの生活単元学習 障害のある子どもの作業学習 特別支援学級の教育課程の編成（小） 特別支援学級の教育課程の編成（中）

研修の構成		講 座 名	
専門研修	特別支援教育の理解推進	特別支援教育講演会 特別支援教育公開講座	専門研修 心理検査法の習得と活用 心理検査法基礎講座（検査法の概要） 心理検査法・田中ビネーⅤ（初級・演習） 心理検査法・WISC-Ⅳ（初級・演習）1組 心理検査法・WISC-Ⅳ（初級・演習）2組 心理検査法・WISC-Ⅳ（中級：解釈と活用）

（２）教育情報事業

ア 教育情報の収集及び提供

特別支援教育に関する教育図書及び資料を収集・蓄積し、要請に応じて教育情報の提供、成果の普及に努める。

【教育図書・資料等の収集状況】

	平成 24 年度末 までの収集状況	平成 25 年度 収 集 予 定 数
教育関係図書	4,660 冊	約 10 冊
教育関係雑誌	1,462 冊	約 30 冊
教育関係資料	1,133 冊	約 10 冊
ビデオテープ・DVD	139 本	1 本

イ 特別支援教育指導資料の作成

各小・中・特別支援学校の教職員の実践に役立つ資料を作成し、ホームページに掲載する。

ウ 理解推進のための広報活動

「教育相談リーフレット」の発行、ホームページの更新を通して、特別支援教育に関する情報の提供に努める。